

消 防 統 計 資 料

(令 和 8 年 上 半 期)

令和8年度全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣



Niihama City Fire Department
新 居 浜 市 消 防 本 部

〒792-0025 新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL 0897 (34) 0119 FAX 0897 (34) 1189

<http://www.city.niihama.lg.jp/>

目 次

火 災



	ページ
1. 火災概況	1
2. 火災種別	2
3. 建物火災における住宅火災の割合	2
4. 月別・原因別火災件数及び損害額	3
5. 校區別火災件数	4
6. 初期消火状況	5

救 急



1. 地区別救急出動件数の推移	6
2. 事故種別救急出動状況・年齢区分別搬送人員状況	7
3. (1) 応急手当普及啓発活動	8
(2) 救急車適正利用のお願い	8
(3) 救急支援情報サービス	8

救 助

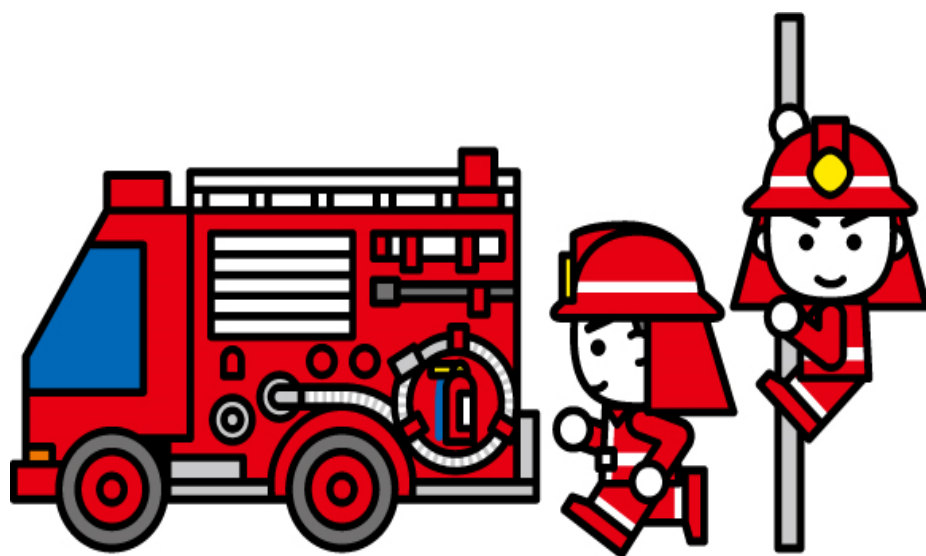


1. 救助概況	9
2. 救助統計	9
・ 地区別出動件数	
・ 事故種別出動件数	



火災

F i r e



1. 火災概況
2. 火災種別
3. 建物火災における住宅火災の割合
4. 月別・原因別火災件数及び損害額
5. 校區別火災件数
6. 初期消火状況

火災

1. 火 災 概 況

新居浜市における令和８年上半期の火災件数は、昨年より１４件多い２３件です。これは、８日に１件の割合で火災が発生したことになります。

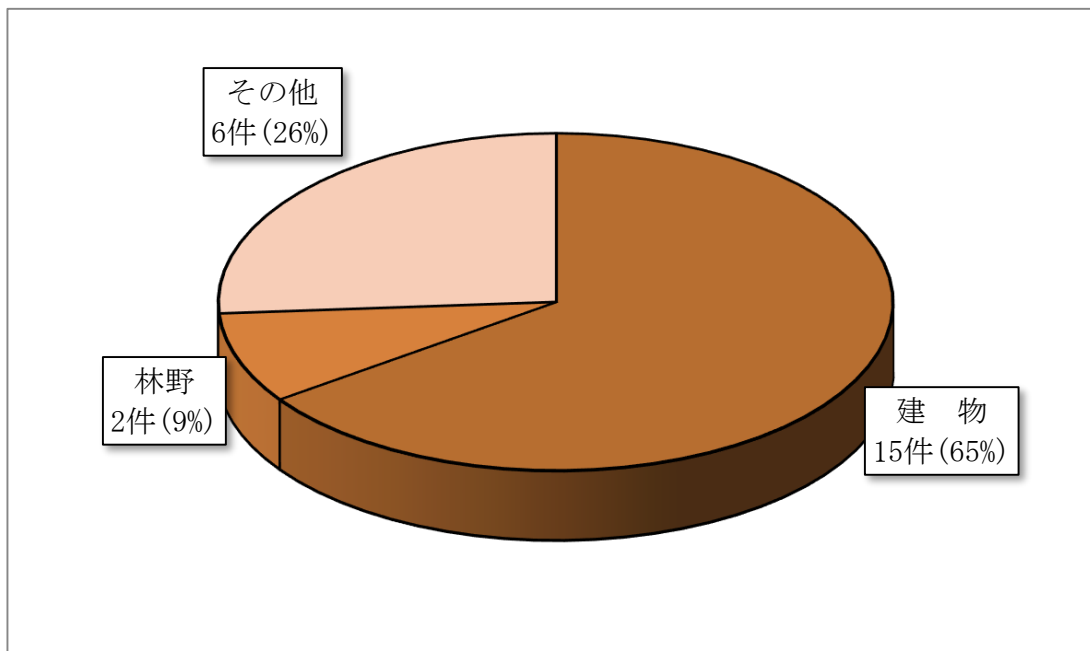
火災による死者は１人で前年は０人でした。負傷者は０人で前年より１人減少しています。

また、火災による損害額は、３１，４１７千円となっています。

区 分		単 位	令 和 ８ 年	令 和 ７ 年	増 減
火 災 件 数	火 災 件 数	件	23	9	14
	建 物	〃	15	2	13
	林 野	〃	2	0	2
	車 両	〃	0	1	▲ 1
	船 舶	〃	0	1	▲ 1
	そ の 他	〃	6	5	1
	爆 発	〃	0	0	0
損 害 額	合 計	千 円	31,417	32,500	▲ 1,083
	建 物	〃	31,417	893	30,524
	林 野	〃	0	0	0
	車 両	〃	0	80	▲ 80
	船 舶	〃	0	25000	▲ 25,000
	そ の 他	〃	0	6527	▲ 6,527
	爆 発	〃	0	0	0
焼 損 棟 数	合 計	棟	22	3	19
	全 焼	〃	6	0	6
	半 焼	〃	4	0	4
	部 分 焼	〃	5	1	4
	ぼ や	〃	7	2	5
焼 損 面 積	建 物 焼 損 床 面 積	m ²	682.65	15.35	667.30
	建 物 焼 損 表 面 積	〃	33.10	0.62	32.48
	林 野 焼 損 面 積	a	0.32	0.00	0.32
死 傷 者	死 者	人	1	0	1
	3 0 日 死 者	〃	0	0	0
	負 傷 者	〃	0	1	▲ 1
り 災	世 帯 数	世 帯	12	3	9
	人 員	人	26	7	19

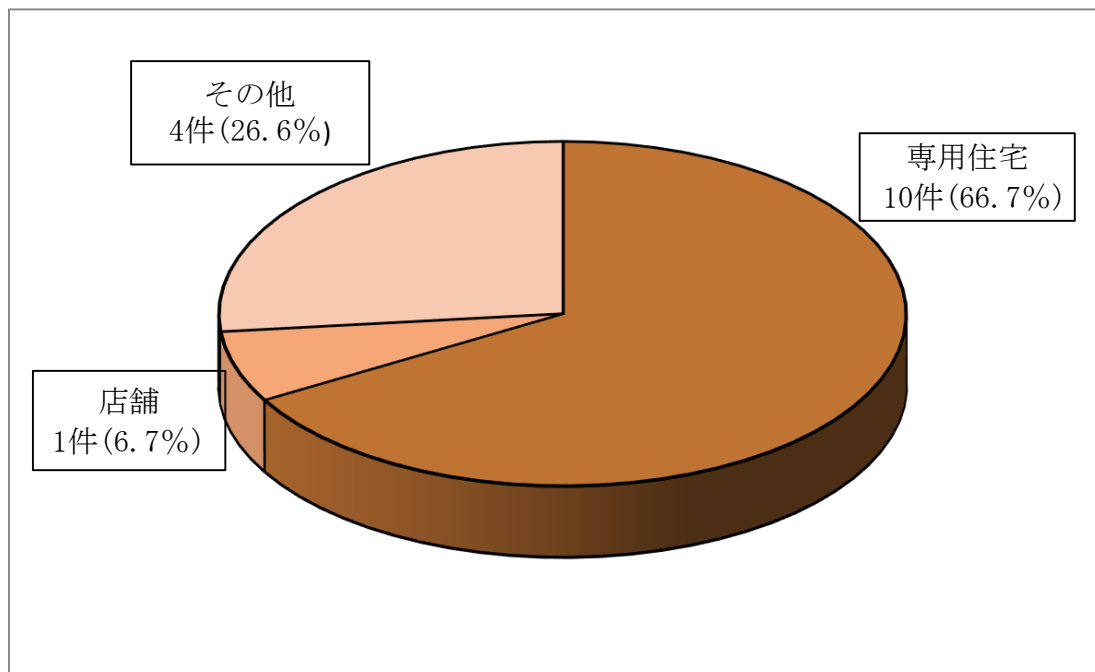
2. 火 災 種 別

令和8年上半期の火災件数（23件）のうち、建物火災（15件）は約65%を占めています。



3. 建物火災における住宅火災の割合

住宅での火災は、建物火災全体の66.7%となっています。



4. 月別・原因別火災件数及び損害額

月別の火災件数は、1月と5月に最も多く発生しており月6件、次いで6月に月4件となっています。

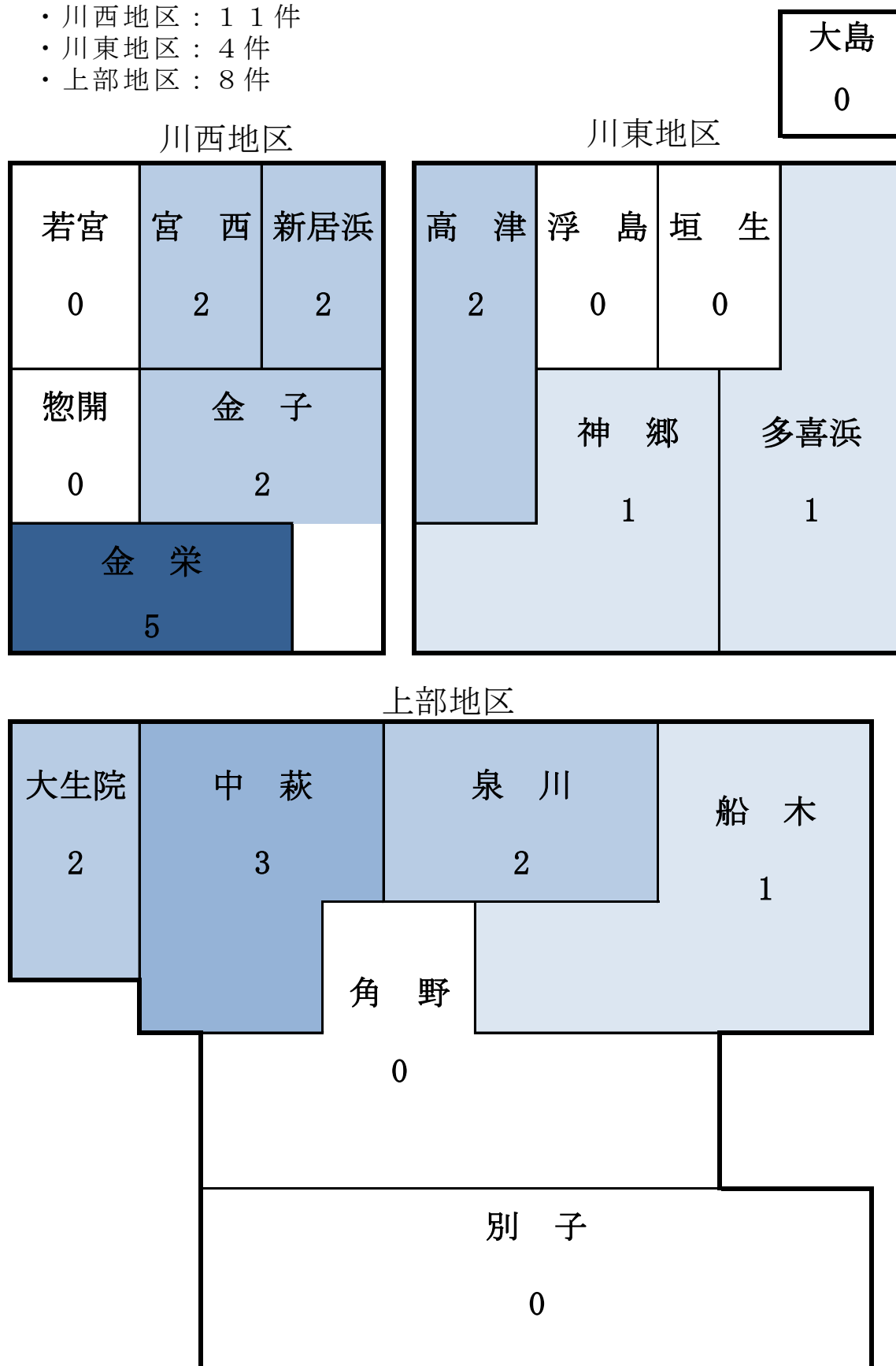
出火原因は、放火の疑いとその他が5件で最も多く、次いでたばこが3件となっています。

月別 原因別	計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
火 災 件 数	23	6	3	2	2	6	4
サイレン吹鳴件数	6	2				2	2
損 害 額（千 円）	31,417	3,749	4,985	22	0	6,266	16,395
た ば こ	3			1	1	1	
か ま ど	1	1					
電 気 機 器	2		1			1	
た き 火	1		1				
放 火 の 疑 い	5	2				1	2
そ の 他	5	3			1	1	
こ ん ろ	2			1		1	
電灯・電話等の配線	1					1	
配 線 器 具	1						1
不 明	2		1				1

5. 校區別火災件数

校区単位での火災発生件数です。

- ・川西地区：11件
- ・川東地区：4件
- ・上部地区：8件



※若宮及び大島は旧小学校区です。

6. 初期消火状況

令和8年上半期に発生した23件の火災に対し、11件の火災で初期消火が行われ、そのうち、8件で火災の消火に成功しています。

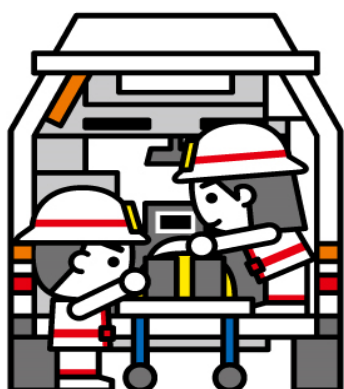
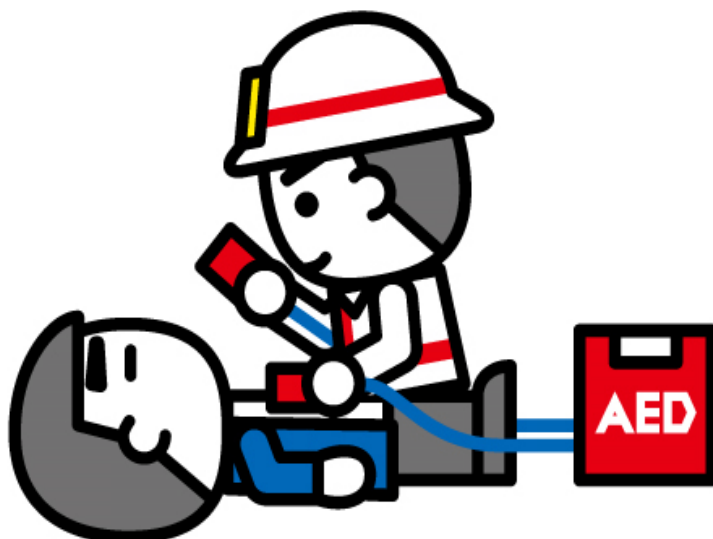
次に初期消火に用いた方法をみると、最も多く使用されたのが『水バケツ』で4件です。次いで『水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた』が3件となっています。

火 災 件 数	23 件 (%)
初期消火実施 (構成比)	11 件 (48%)
成功件数 (構成比)	8 件 (73%)
初 期 消 火 な し (構成比)	12 件 (52%)

初 期 消 火 方 法	実施件数 (消火成功件数)
水バケツ	4 (3)
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	3 (1)
二酸化炭素消火器	1 (1)
粉末消火器	2 (2)
そ の 他	1 (1)
合 計	11 (8)

救 急

Emergency

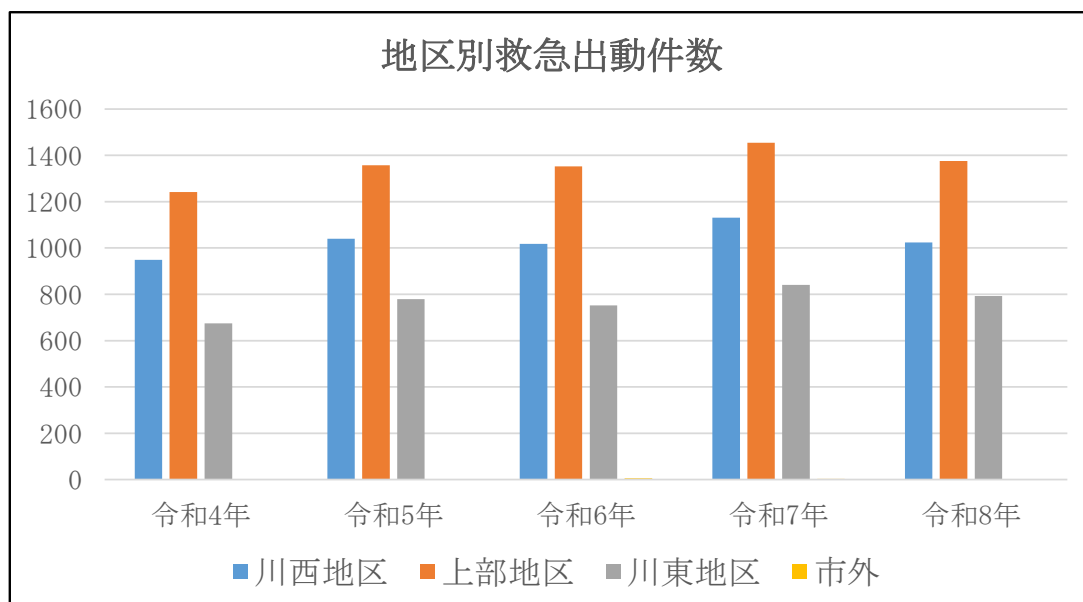


1. 地区別救急出動件数の推移
2. 事故種別救急出動状況・年齢区分搬送人員状況
3.
 - (1) 応急手当普及啓発活動
 - (2) 救急車適正利用のお願い
 - (3) 救急支援情報サービス

1. 地区別救急出動件数の推移

令和8年上半期における救急出動件数は3,194件（対前年比235件減）となっています。また、その中で傷病者が医療機関に搬送された人数は3,002人（対前年比200人減）で前年と比較し救急出動件数、搬送人員ともに減少しています。救急自動車は、1日平均17.6件の割合で出動したことになります。

（令和8年上半期）



地区別救急出動件数

令和8年上半期

地区 \ 年	令和4年 上半期	令和5年 上半期	令和6年 上半期	令和7年 上半期	令和8年 上半期
川西地区	949	1040	1018	1131	1024
上部地区	1242	1357	1353	1454	1376
川東地区	675	779	752	841	793
市外	0	0	5	3	1
合計	2866	3176	3128	3429	3194

2. 事故種別救急出動状況・年齢区分別搬送人員状況

令和8年上半期における搬送人員のうち、事故種別（急病、交通事故、一般負傷、及びその他）の全件数に対する割合をみると、搬送人員3,002人のうち、急病の占める割合は1,964人（65.4%）で、交通事故は178人（5.9%）、一般負傷は515人（17.2%）となっています。また、搬送人員を年齢区分別でみると、高齢者（65歳以上）が2,040人（68.0%）となっています。

事故種別救急出動状況

（令和8年上半期）

		合 計	月 別					
			1	2	3	4	5	6
出動件数（件）		3,194	651	526	549	465	510	493
搬送人員（人）		3,002	613	490	518	440	477	464
火災	出動件数	2		1			1	
	搬送人員	1		1				
自然災害	出動件数							
	搬送人員							
水難	出動件数							
	搬送人員							
交通事故	出動件数	185	29	28	36	31	38	23
	搬送人員	178	29	26	35	29	39	20
労働災害	出動件数	20	2	2	3	3	4	6
	搬送人員	20	2	2	3	3	4	6
運動競技	出動件数	6		2	1	2		1
	搬送人員	6		2	1	2		1
一般負傷	出動件数	539	127	86	91	62	79	94
	搬送人員	515	118	81	88	60	77	91
加害	出動件数	5			3	1		1
	搬送人員	3			2			1
自損行為	出動件数	21	3	4	2	4	6	2
	搬送人員	16	3	4	1	3	5	
急病	出動件数	2,082	426	342	361	309	330	314
	搬送人員	1,964	401	318	339	298	308	300
その他	出動件数	334	64	61	52	53	52	52
	搬送人員	299	60	56	49	45	44	45

年齢区分別搬送人員状況

（令和8年上半期）

事故種別	年齢区分					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
急病	1	95	49	456	1363	1964
交通事故		3	19	78	78	178
一般負傷		23	21	63	408	515
その他	9	8	13	124	191	345
合計	10	129	102	721	2040	3002

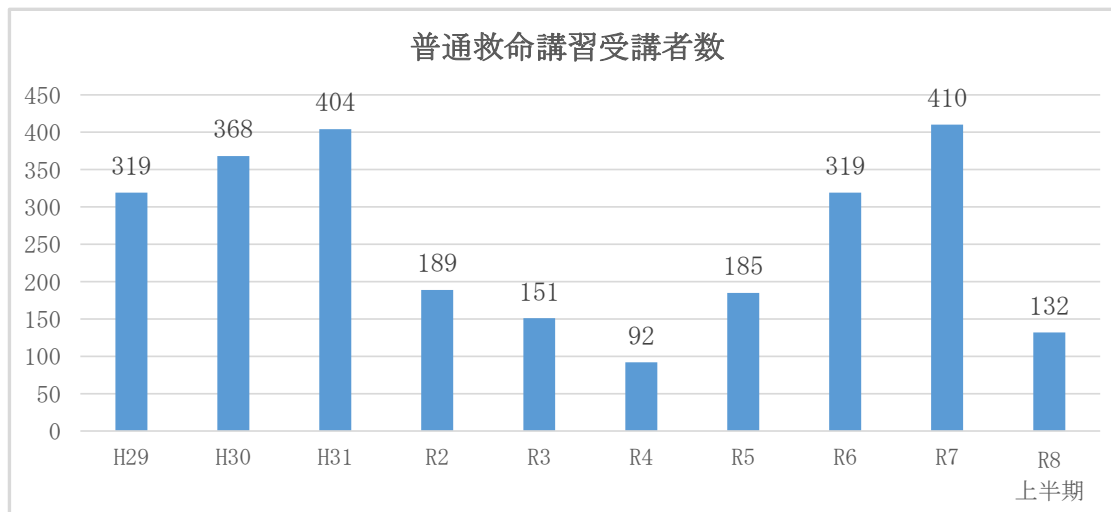
（注） 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）

3. (1) 応急手当普及啓発活動

応急手当に関する正しい知識と技術の普及を目的とし、新居浜市では普通救命講習、救急入門コース、一般講習を行っています。

令和8年上半期

- ・普通救命講習（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ） 実施：6回、受講者：132人
- ・救急入門コース（1時間30分程度） 実施：15回、受講者：375人
- ・一般講習（1時間未満） 実施：34回、受講者：1,532人



3. (2) 救急車適正利用のお願い

救急車の出動件数が増えることで、救急車が現場に到着するまでに要する時間も伸びてきており、一刻を争う事態が発生したとき、救急車の到着が遅れてしまうおそれがあります。

えひめ救急電話相談（#7119）を使っていただくことで、緊急性の高い傷病者の元にいち早く救急隊が駆けつけることができるようになります。

（詳細は、下記のホームページをご参照ください）

3. (3) 救急支援情報サービス

①えひめ救急電話相談「#7119」について

<https://www.pref.ehime.jp/h15300/23syoubou/7119.html>

②愛媛県子ども医療相談「#8000」について

https://www.pref.ehime.jp/h20150/kyukyu_syonikyukyu.html

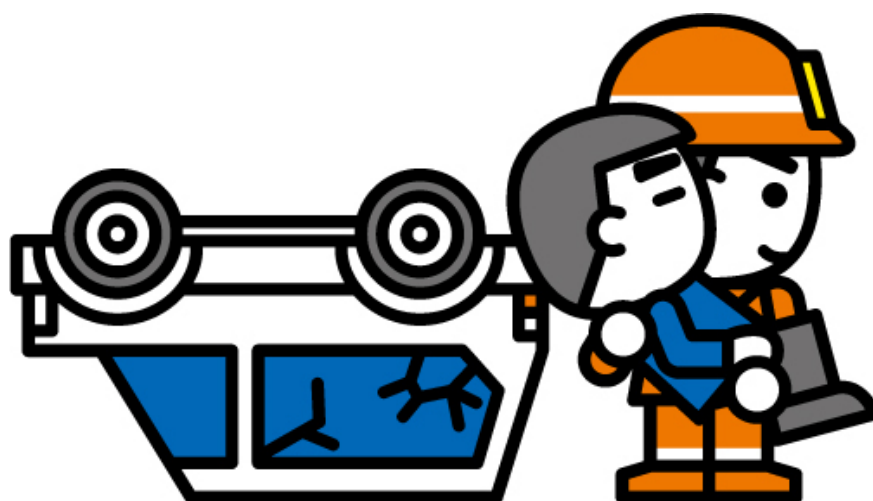
③総務省消防庁「Q助」案内サイト

<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/appropriate/appropriate003.html>



救助

R e s c u e



1. 救助概況
2. 救助統計
 - ・ 地区別出動件数
 - ・ 事故種別出動件数

1. 救助概況

令和8年上半期の救助概況は、出動件数17件、活動件数10件で、去年同期と比較すると、出動件数は同数、活動件数は1件の増加となっています。また救助人員は、11人で去年同期と比較すると、1人の増加となっています。

社会構造の変化に伴い、救助活動は、火災のみならず、地震、風水害、交通、水難事故等、広範囲に及んでいます。このような状況の中、高度救助資機材の整備・活用を図るとともに、各種訓練により、隊員の育成・レベルアップに努め、幅の広い災害事案に対応できるよう、取り組んでいきます。

2. 救助統計

